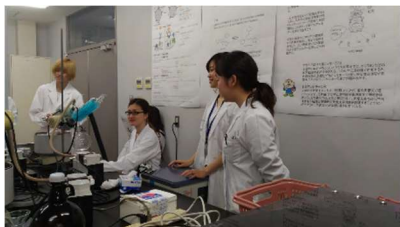


News

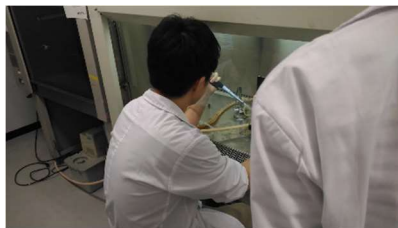
応用生命化学実験Ⅱ

5月9日(火)から3週間にわたり学部3回生が受講する応用生命化学実験Ⅱにおいて、食品・栄養化学研究分野の担当の実験が開講された。

毎年様々な食品を用いて行っている応用生命化学実験であるが、今年の実験ではブロッコリー・小豆・朝鮮人参を用いた。これらの食品から成分を抽出し、細胞実験と動物実験の両方を行うことでアレルギーの抑制効果を調べた。B3の学生たちにとってクリーンベンチでの作業や動物実験の試料調整、投与、解剖は本実験で初めて経験することであり、盛りだくさんな内容である。果たしてうまく行ったのであろうか…！



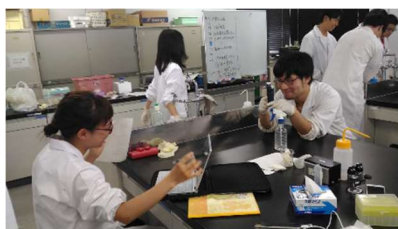
抽出した食品成分をロータリーエバポレーターにかけている様子。突沸しないよう、常に気を付けて見ていなければいけない。初めてのB3全員との顔合わせで少しじじな様子を捉えた1枚。写真上/田代純輝(B4、左端)、奥野葉月(M1、中央)
写真下/藤井美凧(M1、右端)、奥野(M1、右から2人目)



細胞実験の前にクリーンベンチ内の準備をする田代(B4)。普段も細胞を扱っている彼だが、8班分の細胞の管理となると大変だったようである。



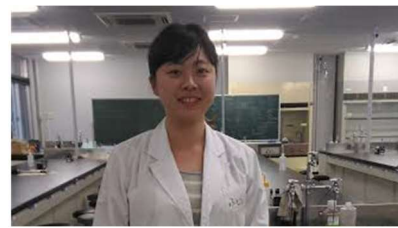
B3の学生にマウスの解剖を教える前田和貴(B4、右)。マウスの保定や尾静脈注射は最初はとても難しいものであるが、彼は手先の器用さを生かして即座に成功させたため、B3の学生からは羨望の眼差しが注がれていた。



解剖が終わってほっとした空気が流れる時間の1枚。レポートを書くB3の生徒と談笑する島田龍太郎(M1、右)。TAをまとめる役割を任せられ奔走する傍ら、B3からの質問には丁寧に分かりやすい説明をする姿が印象的だった。



最終日には全員ボーダーの服で実験室へ！期待していたB3の反応はイマイチだったが、着ていた本人たちがとても楽しめたのでよし。後片付けも終わり全員リラックスした表情で1枚。左から田代(B4)、前田(B4)、米倉裕貴(M1)、島田(M1)、奥野(M1)、丸岡祐子(B4)、森田温子(B4)。撮影者は藍原祥子助教。



集合写真に遅れてしまいピン撮影となった藤井(M1)。勿論白衣の下にはボーダーを着ている。予備実験を担当した細胞実験は何度もやり直しをしていたが、上手に行ったようで何よりである。

3週間、火～木曜の午後を使って行った実験も無事に終了した。B3の学生たちにはレポート提出の〆切が待っているの、気を引き締めて膨大なデータをまとめてほしい。

編集後記

研究室に配属されてはや2ヶ月が過ぎました。TAとして参加する初めての学生実験は4月からの予備実験や準備、指導で慌ただしい日々が続きました。でもB3とたくさん関わることができ、終わってみるととても楽しい時間でした。これから暑くなっていきますが、体調を崩さず日々を大切に頑張りたいと思います。

丸岡 祐子(B4)